



議会だより

第2号

みなべ

平成17年5月1日

発行 みなべ町議会
編集 議会広報特別委員会
〒645-0002 和歌山県みなべ町芝742
TEL 0739-72-1334
FAX 0739-72-1335



上南部小学校の卒業生たち

3月定例会

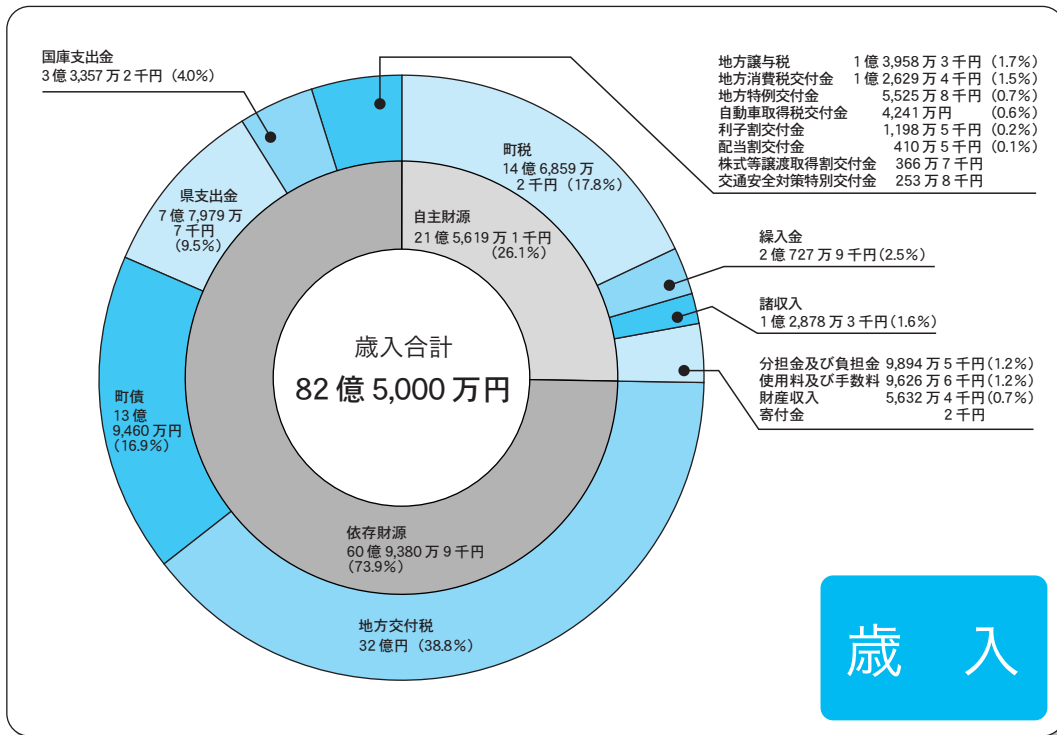
一般会計予算82億5,000万円……………P2 ・3

活発な予算案等の審議内容は……………P4 ・5

一般質問(7名が登壇)……………P6~12

一般会計予算

82 億 5,000 万円



平成17年第1回定例町議会では、旧町村の平成16年度各決算など認定案18件、平成17年度一般会計と特別会計予算案など議案37件が上程されました。

指定ごみ袋導入の件は梅の里まちづくり政策調査委員会での審議に付託されました。その他の認定案、議案は慎重審議の結果、認定、可決されました。

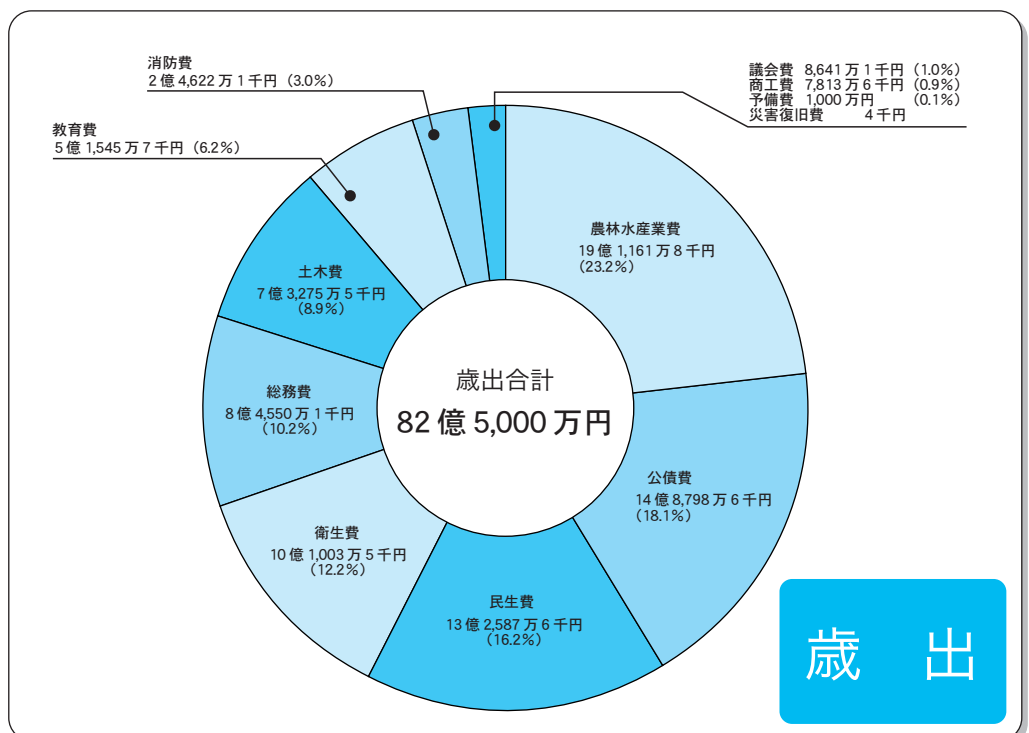
歳入

介護保険料が 変わりました。

年額	1号	2号	3号	4号	5号	6号
1号	11,100円	27,900円	37,200円	46,500円	55,800円	63,200円

月額	1号	2号	3号	4号	5号	6号
1号	925円	2,325円	3,100円	3,875円	4,650円	5,267円

対象人数	1号	2号	3号	4号	5号	6号
1号	45人	1,037人	1,738人	448人	349人	56人



歳出

□ 平成17年度 みなべ町予算 □

会計名	歳入	歳出
一般会計	82億5,000万円	82億5,000万円
特別会計	48億9,733万円	48億9,733万円
国民健康保険	15億5,923万円	15億5,923万円
老人保健事業	11億5,142万円	11億5,142万円
介護保険事業	10億3,150万円	10億3,150万円
住宅新築資金	2,228万円	2,228万円
鶴の湯事業	6,595万円	6,595万円
農業集落排水	3億8,632万円	3億8,632万円
公共下水道	5億8,996万円	5億8,996万円
簡易水道	9,067万円	9,067万円
上水道会計	1億5,675万円	1億4,055万円
総合計	133億408万円	132億8,788万円

齋場使用料が見直されました。

参考資料
近隣市町村齋場使用料

御坊市	25,000円
由良町	30,000円
日高町	10,000円
美浜町	20,000円
川辺町	30,000円
中津村ほか	20,000円
白浜町	20,000円
新田辺市	10,000円
印南町	20,000円
みなべ町	10,000円

一般会計歳出の主要項目予算額

議会費..... 8,641万1千円	土木費..... 7億3,275万5千円
総務費..... 8億4,550万1千円	○道路橋梁費... 4億8,855万2千円
○総務管理費..... 7億855万7千円	○河川費..... 1,035万3千円
○徴税費..... 9,419万5千円	○都市計画費... 2億2,791万2千円
○戸籍住民基本台帳費..... 3,476万1千円	○住宅費..... 593万8千円
民生費..... 13億2,587万6千円	消防費..... 2億4,622万1千円
○社会福祉費..... 8億8,813万円	教育費..... 5億1,545万7千円
○児童福祉費... 4億3,774万3千円	○教育総務費..... 8,302万円
衛生費..... 10億1,003万5千円	○小学校費..... 8,208万3千円
○保健衛生費... 4億7,834万2千円	○中学校費..... 6,721万3千円
○清掃費..... 5億2,261万円	○幼稚園費..... 4,014万5千円
○水道費..... 908万3千円	○社会教育費... 1億8,621万9千円
農林水産業費..... 19億1,161万8千円	○保健体育費..... 5,356万7千円
○農業費... 15億6,796万4千円	○学童保育費..... 321万円
○林業費... 2億7,941万1千円	災害復旧費..... 4千円
○水産業費... 6,424万3千円	公債費..... 14億8,798万6千円
商工費..... 7,813万6千円	予備費..... 1,000万円

(『広報みなべ』4月号に主な事業と予算額を記載しています。)

合併後初の本格予算等

活発な

議 案 審 議

議案審議では一般会計予算等の主な内容を紹介します。

コミュニティバス

Q

奥地からデマンド方式で来て乗り変えると二度料金を払うことになるが、町内同一料金にできないか。

A

近く検討委員会を開くことになっていますので、その場で検討します。

保育士の配置等

Q

保育士の人件費として正職員19名、臨時職員18名になっているが、各保育所への配置はどうなっているか。

Q

臨時職員が多すぎると思うが、どうか。

A

実態をはじめて知りました。早急になんとか検討をしなければならぬと思います。

A

各保育所への職員配置は左表の通りです。

保育所名	正職員	臨時職員
南 部	5 名	7 名
上南部	8 名	6 名
高 城	3 名	4 名
清 川	3 名	1 名
計	19 名	18 名



南部保育所

住宅改造助成

Q

重度身体障害者の住宅改造助成の利用状況及び最高限度額はどうか。

A

利用件数は旧南部町で年間に2〜3件です。限度額は80万円ですが、60万円までがほとんどです。

紀南廃棄物最終処分場の建設

Q

最終処分場の建設に関する負担金及び出資金割合はどうなっているか。

A

出資金は人口割合で、みなべ町は65%です。又、負担金は最終処分する量でみなべ町は34%です。



改善された浴室

滝地区内の 道路の改良

Q 国道424の改良に伴い滝地区内(通称こかし坂)の取り付けは。

A 国道が町道より2メートル程、高くなりま
す。梅の里へ上がっていく上
流勾配を直すべきと考えてい
ます。今後、地元と検討して
いきたいと思っています。

県道改修負担金

Q 上芳養南部線で、東
吉田地区内に未整備の区
間がある。平成17年度から事
業にかかると聞いていたが、
どうなっているのか。

A この予算には入って
いませんが、新たに事業
費5千万円の内示がありま
したので、今後の補正予算で
負担金を計上します。



国道 424号 (滝地区内)

岩代小の多目的 ホール屋上の改修

Q すぐに改修が必要と
思われるが日常の施設
管理体制はどうなっている
か。

A 日常の管理について
は校長の責任ですが、
さらに各小学校に見回り点検
等の強化をお願いしていきたい。



岩代小学校

中山間地域 直接支払制度

Q 制度が5年延長され
たのは結構なことだが、
8割支給もあるとのことだが？

A 事業予定量は708畝分
です。8割給付になら
ないためには、必須条件とし
て保全マップ作成等があり、
選択条件として、収益向上を

図るための活動等が必要にな
っています。

国保税の 滞納対策は

Q 一般被保険者国保税
で滞納繰越金750万円と
なっているが対策は。

A 納付して貰う努力に
努めていますが、ペナ
ルティとして資格証明書の発
行や3ヶ月、6ヶ月の保険証
の発行をしています。

水道料金の一元化

Q 簡易水道、上水道の
料金の一元化はどのよう
なのか。

A 合併協議の中で、口
径別料金とすることが
決まっています。一応、3年
を目途に調整する事になって
いますが早急に対応してい
たく考えています。



寺本三直 議員

町職員定数および 本町への道路標識を

みなべ町

職員定数について

質問 みなべ町が発足されるに当たり旧両町村の在職職員178人をもって、職員定数を定められました。職員定数とはどういうことでしょうか。

町長 市町村の職員につき定数を定めるのは法律に基づいたものでありまして、条例でこれを定めるとなっています。この定数というのはその団体における人口とか行政内容の規模に応じてきちっと出てまいりませんが、自ずと出てきているわけです。それで必要とする人数枠を定めているのが定数条例であります。実員は常に動いていますが、定数枠内での増減であります。

質問 今後職員の退職に伴う新規採用はどのような計画となっているのか。

町長 合併協議会の中で新しい町の職員計画を立てています。10年間で60人の定数

退職者が出る見込みで、40人の減員を目標にしています。今後20人の補充が必要と考えています。職員を減らすだけの目的であればそのまま補充をせずという考え方もあるかも知れませんが、それは職員の年齢構成上段差というものが解消できません。やはりその時代にあった職員を採用していく必要があると考えています。年間2人ずつの採用を予定しています。少しずつですが、目標の数値になるまで減員をしていくつもりであります。



第1庁舎の事務室



田辺・印南線 (熊瀬川地内)

国道、県道に 本町への道路標識を

質問 御坊方面から山越えで来町していただくには、道路が複雑で標識をたよりにしても当町の記入がなく現地での道に相当詳しい人であれば来町できないのが実態であると思われる、印南町・印南原付近の国道と県道にみなべとの案内標識が必要です。是非設置できるように県に要望してほしい。

町長 案内標識というのは、非常に大切なことだと思います。親切な行政を打ち出している以上、住民の皆さんあるいは、町外の皆さんにも分かりやすく来町しやすいみなべの標識を県の方へ要望していきます。



中家克己 議員

梅枯、塩害、着花、 価格対策について

質問

昨年、猛暑のせいもあってか、勢いの悪い梅の枯死が多かった。さらに相次いだ台風による塩害、風害がひどい。夏に暑かったから花芽が多く着くかと思われたが少ない。今の梅干しの価格A級9千円は秀品率の低さもあって、梅枯れを克服して生産拡大をめざす農家の意欲に応えるものとは言い難い、これらの点についてお考えをお聞きしたい。

町長

梅枯れの原因が日照りや水不足だとは考えておりません。梅は栽培、加工、価格など毎年何かはあるものですが、今度の場合、台風22、23号による被害はひどいものです。梅枯れの原因などについては東本庄に設立された県立うめ研究所で研究してもらっていますが、16年9月に農家に梅枯れをアンケート調査した結果、15年度に比べ92%と少し減少しております。塩害は6、7、8月に起きており、調査の中間報告として275軒程度の被害だと思っております。また、着花数については100節当たり476で不作だった昨年の88%、5年平均の7割と低く、塩害地では町内平均の35%しか着花がみられず、作柄を心配しております。た



塩害を受けた梅園

だ、私は今度の南部町南部川村の合併で梅振興行政の一元化が成ったことが大きなメリットであると思っております。梅産業全般はもちろん梅干しの価格についても南部郷梅対策協議会、行政とJA、農家にこれからは業者さん、梅干加工販売組合の方々にも入ってもらって一つのテーブルについているんな課題について話し合い産地が一つになって、函車を回していきたいと考えております。

入札について

質問

合併して入札はどうなったの？と町民の方から時々聞かれる。そこで誰にでも解る言葉で入札についての考え方、どんなものを入札にかけるのか、入札の仕方について町民に説明してほしい。

町長

合併して従来と変わった点があります。町内の地域経済のこともあって殆ど指名競争入札にしたことです。指名する業者については庁内の選定審査会八人で会合を持ち、一件ずつ審議して偏ったり癒着など起こすことのないよう指名業者を決めております。備品についても殆ど競争入札を行っており、三者以上の業者から見積もりをとって安いところと契約する見積もり入札もやっております。各学校などで使用する備品や消耗品などについても予算が決まった段階からまとめて町で購入する物と各学校で購入する物を協議して決め、各学校で買う場合も発注回いで確認し合って業者から見積もりをとって購入するようにしております。



入札箱

自主防災の 取り組みについて



田中昭彦 議員

質問

近い将来必ず発生するとされている南海・南海地震は、100〜150年周期で起こることが歴史的にも証明されています。それゆえ40年後は80%以上の発生確率があると報道されており、若い年代の人は生涯確実にこの震災を体験することになります。その為、今から防災対策をすることが大切で、県も「和歌山県地震防災対策アクションプログラム」を作成して取り組んでいます。その一つである町内の「自主防災組織化」の進捗状況をお聞きます。

町長

旧南部町の15区の内13区が組織化しており又、旧南部川村の各区はまだですが旧上南部・高城・清川地区では、それぞれ避難や消火の防災訓練を実施しています。

質問

災害対策には「自助・共助・公助」の三つのパターンがあるといわれ、公助やハード面は当局にお願いするとして、個人でできるソフト面も「官・民」あげて取り組む必要があると思います。

町長

今のところまだ他人事のように思っているのではないかと感じますが、

自覚を促し、啓発を根気よく進めていきたい。又、各区内

は、独自の取り組みもあり嬉しく思います。



自主防災訓練（バケツリレー）

合併を機に町職員の 意識改革を

質問

国・地方行政の借金が750兆円を超え、このままでは国も地方も財政危機に陥る恐れがあるため、総務省は効率化を図って何とか持ち堪える手段として、全国的に平成の大合併を進めていま

す。みなべ町も県下トップで新町を発足させましたが、合併特例債も10年後は無くなり、その後は厳しい財政状態が続くと予想されます。そんな状態に対処

するために、町政を司る町職員の皆さんに「今までこれでやって来た」から「他にもっと良い方法がないか」という発想の転換・意識改革をお願いしたい。

町長

昨秋合併して難しい両町村の調整もスムーズにスタートしており、職員は役割を全うしてやってくれています。しかし、今や昔の役場と違って、職員募集2人に48人の応募があったことの現実を職員に伝え、その自覚を促しました。今の厳しい現実を受け止めて、これからも町民の付託に応えて行くよう努力してまいります。



新みなべ第一庁舎



平松泰一 議員

道徳教育について (命の尊さ)

質問

昨年の9月NHK放送で小学校3年生、33人の中で「一度死んでも又何かに生まれ変わって来ると思う人は」の問いに28名の児童が手を挙げたのです。私はみなべ町の小学生に命の尊さと言うことを教えているのか、もっと道徳教育を子供達に教えていただきたい。

教育長

実は子供のことに ついては、大変私共社会問題として考えておりますし、一つは命という問題につ



二宮金次郎の像

いてもゲーム感覚でとらえて、それを自己判断していくというような部分があります。家庭教育ではなくて学校教育、社会教育も含めた生涯学習の中できちっととらえていかななくてはなりません。これは決して子供達の問題ではなく大人の我々の立場もこのことの責任の一端を感じるところであります。教育行政を預かる教育委員会といたしましてもこのことは真摯に受け止めて行かなければいけないと思っております。

横断溝のグレーチングを網目に

質問

横断溝のグレーチングの目の粗い部分に身体障がい者が通りやすいように部分的に交換して頂きたい。

特に歩行者の多い所から

町長

バリアフリーというのは、そういうところにもあるんだなと新しく認識いたしました。現在は、新しい製品では、隙間が細手のも



JR北一番ふみきり

のが発売されているようでありますので、それは出来るだけ使っていくということにいたします。

それから既設の分につきましては、徐々に換えてはというお話でございましたが、十分心得まして改良する所、特に歩行者の多い所から改良を進めて、障がい者の方々にご迷惑がかからないようにしていきたいと思えます。

乳幼児の医療費 小学校入学前まで無料に



山中邦夫 議員

質問

私は、昨年11月に開かれた選挙後の臨時議会で条例の審議において、乳幼児の医療費を小学校入学前まで、無料にすることを要望しました。

合併協議の中でも、旧町村で実施していた独自施策が削られることに意見を申し上げ、新町において新たな子育て支援施策が具体化されると期待していました。

しかし、何も提案されていません。町長はこの乳幼児の医療費を小学校入学前まで無料にしてほしいという願いについてどう考えられていますか。



乳幼児の健診

町財政の見通しがついてから

町長

確かに臨時議会で要望を承っています。要望をいただながら、おこなえできなかったこと、申し訳なく思っています。

町の一般財源の把握が不確実な状況の中で、こうした施策はもう少し財政の見通しがはっきりしてから着手したい。一旦、始めた以上は簡単に改めたり、廃止したりできにくいし、したくありません。ですから慎重に構えたということであります。

教育事務所の廃止について



南部小学校浜玄関

質問

教育事務所の廃止にかかわって、現場の先生方が心配しているのは、今までのような学校に対する指導体制がとれるのかどうかと云うことですが。

教育長

今までは教育事務所に指導主事がありました。これがなくなり、指導主事を各市町村に配置しています。

みなべ町には、県単と町単の2名の指導主事が配置され、その方々によって専門的なことについて、教科課程についても指導していただきます。

質問

はつきり申し上げて、5人の教育委員の中に教育の専門家がいないことが心配です。

そこで、校長を中心とした学校の自主性を尊重することが大切だと思います。

教育長

学校現場では校長がございいますので、そのことについて指導主事がとやかく言う立場ではないと思っています。

また、私共の経験のなさは、2名の指導主事が補っていただけだと思います。



園出俊明 議員

県道田辺印南線の改修と 梅の廃液処理について

県道田辺印南線の改修



着手がまたれている現地

質問

西本庄における県道田辺印南線と国道との接点五味地区から玉(だま)地区にかけての橋梁整備事業の早期実現について町長の考えをお聞きます。

完成すれば高城地区も含めた「新生みなべ町」の大動脈の要になり、国道改修時の迂回路にも利用でき、五味地区の床下浸水の問題の解消の足がかりになると考えますが。

町長

この橋の必要性、重要性については私も早くから感じております。平成8年に当時の西本庄、熊瀬川区長から連名で要望を頂いており、熊瀬川までの改修の完了を待ってからと申し上げた経緯があります。合併の事業計画にも入れており、取り組んでまいりたいと思っております。一生懸命に県の方へ働きかけますので、関係方面からのご協力もお願いいたします。

梅の廃液処理について

質問

梅が消費者の食卓に登場するまでの過程で、厄介なものといえば、梅酢と調味残液と洗浄水の処理でしょうか。梅酢の方は最近商品化の動きもありますが、問題は調味残液と洗浄水の処理で、海洋投棄の規制も強まる中で小規模な業者にとっては死活問題です。

そこで私は集中的処理施設の建設を提案します。最近では地元にもその方面に明るい方もおられます。雇用促進にも繋がるこの事業、町長はどの様にお考えかを質問します。

町長

この問題は、旧村でも何回も議論して参りました。基本的には法律に基づいて産業廃棄物は事業者の方で、一般廃棄物は行政の責任でという姿勢であります。梅産業で生きている地域としては、そう割り切れるものでもないという考えも持っております。小規模な業者の方達も共同設置という方向を目指していかなければ成らないんじゃないのかなと思います。原則は事業者の責任で、行政としてもできるだけの支援をと、こういう考え方で。



家庭排水の処理は進んでいるが

国道424号の 改良について



北谷清治 議員

質問

合併して一つになっ
たまなべ町の動脈とも
いえる国道424号線は、町民の
大事な生活道路であります。
現在、高城地区での工事が進
んでおりますが、穂手見トン
ネルより清川石倉地区までの
計画が未だなされていません。
一番気がかりなのはいつた
いつになったら清川まで完
成するのだろうか、この道を
通るたび思うのは、私を含め
町民の皆さんです。たまに大
型観光バスが2台、3台と続
いて通る為、立ち往生するこ
ともあります。

国の公共事業見直し政策で



国道424号（清川石倉地内）

財政的には大変厳しい中、早
期完成に向け、特に清川地区
内の計画も含め、より一層今
まで以上に取り組んで頂きた
いと思いますが、町長のお考
えをお聞かせ願います。

清川地内の 改良計画化と 事業採択へ

町長

旧南部川村内を縦貫
している国道424号は、
背骨となる所でありまして、
改良については関係者の協力
を賜りまして、なお一層取り

組んで参ります。また、ご指
摘の清川地内、距離は短い
ですが、まだ改良計画は具体
化していません。これからの

仕事はこの改良計画を机上に
のせ事業採択に持っていきたく
いという考えでございます。



急傾斜地崩壊対策事業

山間部の防災について

質問

近い将来必ず起こる
だろうと言われている
南海、東南海地震対策や、昨
年のような台風による高波対
策として町内海岸線の改修や
堤防のかさ上げ工事は進みつ
つあります。

家が山肌にしがみつくよう
に建っている山間部におい
ては、山崩れや火事の発生、谷
川をせき止め天然湖による家
の水没、迂回路のない国道、
県道などが寸断され、まった
く孤立化することも考えられ
ます。平野部よりも、もっと

悲惨な状況になるでしょう。
そこで特に奥地、山間部の清
川、高城地区の自然災害に対
する対策としてはどのような
考えをお持ちでしょうか。

横糸道路の整備

町長

食料や飲料水の確保、
砂防事業、道路網の整
備等が災害時に考えられる必
要な対策で、特に集落間を結
ぶ横糸道路の整備等ハード面
も加え、防災対策に取り組ん
でいきたいと考えております。

常任委員会・特別委員会の 活動報告

「合併後初の常任委員会、特別委員会を開きました。2町村が合併したことで互いの町村の認識を深める意味合いも込め、各委員会として次のような所管事務調査を実施しました。」



産業建設常任委員会

2月14日(月)

町道名之内線改良工事、林道東神野川木の川線の開設、町道東岩代線橋梁新設工事、農道の改良工事、五反池改良工事、町営住宅、農地造成地、鶴の湯、南紀産業、花卉団地等所管の現場を担当課長の説明を受けながら踏査しました。

福祉環境常任委員会

2月15日(火)

みなべ町斎場、小目津公園ごみ焼却場、千里球場、東西岩代浄化センター、みなべ町浄化センター、清川浄水場をはじめ東神野川、市井川、高野、滝、西本庄、谷口、みなべ各浄水場、受領地区処理場はじめ西本庄、東本庄本郷、晩稻熊岡、共和東、共和西地区各処理場を、担当課長の説明を聞きながら夕方まで視察については4月中に実施する予定です。



総務文教常任委員会

2月17日(木)

清川小学校、清川中学校、高城小学校、高城中学校、上南部小学校、上南部中学校、南部小学校、南部中学校、岩代小学校、南部幼稚園を視察し、教育長、次長、学校教育課長、校長、教頭から、各学校の現況・要望等を聴取しました。

梅の里まちづくり 政策調査特別委員会

2月2日、黒潮フルーツライン計画の概要を現場において、担当課長から説明を受けました。その後、県立うめ研究所と新町内を視察しました。また、3月18日には三里峰サーキット跡地の今後の活用方法など検討するため、助役、担当課、森林組合職員の同行で説明を受けました。今後、この広大な土地利用については様々な論議を呼びそうですが、当委員会の重要課題として検討を重ねて参ります。

決算審査特別委員会

旧町村の決算を認定

旧南部町、南部川村の各半期分という変則な決算

去る3月8日当委員会に審査を付託されました、合併以前の旧南部町、平成16年4月1日から9月30日までの一般会計と、国民健康保険事業、老人保健、介護保険、住宅新築資金貸付事業、農業集落排水事業、公共下水道事業、水道事業、土地分譲事業、同じく旧南部川村一般会計、国民健康保険事業、老人保健、介護保険、簡易水道事業、農業集落排水事業、鶴の湯会計及び、田辺市、南部町、南部川村道路組合会計、南部町、南部川村環境衛生事務組合会計の歳入歳出決算認定についての件であります。

当委員会は、去る3月16日17日の2日間、委員8名全員が出席のもと、執行部から助役、収入役、各課長並びに担当職員にも出席をして頂き、決算書と主要施策成果報告書を並行しながら、それぞれの事業の実施状況などについて説明を聞いた後、質疑を行い、審議をいたしました。各会計の決算数値、実施した事業の

内容と実績等につきましては、決算書と主要施策の効果説明書のとおりでありました。

きめ細やかな
予算執行に配慮

三位一体改革等、地方財政が厳しい中においても、良い事業は残し続けていく事で、みなべ町らしさを出していく事も重要であると感じております。

今後の町づくりにおいて、両町村の相違点、問題点等の早急な是正を図られ、新みなべ町のスタートにふさわしい健全な財政運用、予算執行に生かされるよう期待するものであります。

なお、この決算について審査とりまとめ検討会終了後、委員会において採決の結果、全員一致で認定すべきものと決定しました。

委員長 宮崎 常二
副委員長 下村 勤
委員 中家 克己
岡上 和雄
村出 頼男
園本 俊明
寺本 三直
山邦 直夫

(議席順)

指定ごみ袋導入による ごみ処理費用有料化実施計画

現在のみなべ町ごみ分別状況から見て、周辺市町村との間に格差があるのは明らかであり、避けて通れない問題である。しかしながらそのためには、町民からの意見や、町当局から町民に対しての納得のいく説明も必要であると思われる。

また議会においても充分論議するために、「梅の里まちづくり政策調査特別委員会」に付託した。



町のごみ処理場

あとがき

議会だより第2号は、重要な平成17年度予算案審議の報告が中心となりました。議会では平日にもかかわら

ず、一般質問の日に大勢傍聴の方が来られ、町政への関心の高さが感じられて、一議員として嬉しいと思います。

今後も町議会を身近かなものと考えて頂き、見守って頂きたく存じます。